

みなと区議会だより

Ⓝ No.167 2007年(平成19年)1月1日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

あけましておめでとうございます



港区議会議長

岸田 東三

あけましておめでとうございます。
区民の皆様には、健やかな新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。港区議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

本年は、港区政60周年という節目の年であります。この60年間は区にとって、東京都の内部団体的性格から自立した基礎的自治体への地歩を築く大きな歩みでありました。

平成12年には地方分権一括法の成立によって、区市町村の権限が大幅に拡大し、清掃事業など区民に身近な事務を、東京都から区へ移管する「都区制度改革」が実現しました。

今後も、議会は、区が皆様の生活に身近な基礎的自治体として、更なる住民サービスの充実・向上を実現できるよう、行政との緊張関係を維持していく所存です。

ところで昨年は、シテイハイツ竹芝でエレベーター事故が発生し、前途有為の若者を失うという悲痛極まりない事態を招いてしまいました。誠に残念でなりません。区議会としても、エレベーター事故等対策特別委員会を設置し、事故原因の究明と再発防止に向け徹底的な調査研究を行ってきたところです。しかしながら、原因の究明が困難なまま年を越してしまいました。

経済では、いざなぎ景気を超える長期の好景気が持続する一方、所得の格差が拡大しています。弱い立場の人々に対する支援のあり方が問われています。また、いじめを原因とする少年少女の自殺や子どもへの虐待が相次ぐなど、区が取り組むべき課題は山積しています。

区議会は、行政執行の事前チェックはもとより、議会自らの権限を十分に発揮して、区民の皆様のご信頼にお応えしてまいります。

区民の皆様のご多幸を祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

目次

新年あいさつ	1
各会派の抱負	2
意見書・請願	4
代表・一般質問	5
審議結果	8
お知らせ	8

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------------|------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 議
長 | 岸田 東三 | 副
議
長 | 藤本 潔 | 阿部 浩子 | なかまえ由紀 | 樋渡 紀和子 | 杉本とよひろ | 七 戸 淳 | 森野 弘司郎 | 菅野 弘一 | いのくま正一 | 熊田 ちづ子 | 秋元 ゆきひさ | 古川 伸一 | 矢野 健一郎 | 杉原 としお | 鈴木 洋一 | 星 野 喬 | 風見 利男 | 湯原 信一 | 達下 まさ子 | 林田 和雄 | 清水 一郎 | 井筒 宣弘 | 鈴木 たけし | 沖島 えみ子 | 北村 利明 | 渡辺 専太郎 | 山 越 明 | 横山 勝司 | 佐々木 義信 | 島田 幸雄 | 大 蔭 幸雄 |
|--------|-------|-------------|------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|

(議席番号順)

迎えて



各会派の抱負

自民党議員団



大高 幸雄



鈴木 たけし



岸田 東三



森野 弘司郎



佐々木 義信



鈴木 洋一



菅野 弘一



島田 幸雄



井筒 宣弘



杉原 としお

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年11月には政府の発表を受け「景気拡大、いざなぎ越え」として、本格的な景気回復の報道もありましたが、賃金の伸び悩みや平均成長率が「いざなぎ」に比べかなり低い水準であること等一般国民の実感には程遠く、期待は本年へ持ち越されました。一方、港区は、財政健全化への不断の取組みを続けてきた結果と、都心回帰等の人口増による特別区民税収入の大幅増加などが重なり、平成17年度決算においても、23区中一番ともいえる良好な財政状況を維持しています。但し、それも国との税財政改革(三位一体改革)による影響から、平成19年度以降大幅な税収減が見込まれるため、今後の人口増に伴う新たな行政需要に備えるなど、本年は区財政も新たな局面を迎えます。今こそ、将来に向けしっかりと舵取りが求められています。3月には、港区は60年の誕生日を迎えます。自民党議員団は、60周年の今年を大きな節目と捉え、最大与党派として、これからも武井区長の施政方針を支持するとともに、区民の安心・安全のため、子育て支援・少子化対策・教育・福祉・産業育成・街づくり等の各分野において、新たな施策の充実・実現に向け、積極果敢にかつ責任をもって取り組んでまいります。

公明党議員団



藤本 潔



達下 まさ子



杉本 とよひろ



山越 明



林田 和雄



古川 伸一

明けましておめでとうございます。常日頃、港区議会公明党に温かい御支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。

公明党は、昨年・九月三十日、新体制のもと、新たな出発をさせて頂きました。折しも昨年は初めて公明系の無所属議員が国政に進んで五十年という節目となりました。新出発にあたり、公明党の立党精神とも言わべき、「大衆と共に語り、大衆と共に戦い、大衆の中で死んでいく」との思いを議員一人ひとりが我が心に深く刻んでまいります。また、現場においがなくなつた議員が多いと言われる現在、皆さまの生活に根ざしたご意見、ご要望を区議会・都議会・国会のネットワークを一層強め、政策の場で生かして参ります。

この一年、区民の皆さまにとって、ご多幸、ご繁栄の年となるよう、心より祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

オンブズマンみなと・一票の会



秋元 ゆきひさ



樋渡 紀和子

新年あけましておめでとうございます。新しい年に寄せて一言ご挨拶申し上げます。

毎年のこと、年の瀬には「よいお年を」と友人、知人らと声を掛合い、そして年賀はがき(選挙区外)にも同様に記します。

しかし毎年、同じ思いなのですが近年その希望、願望と不安、不満のバランスがくずれきてきているような気がしてなりません。

希望より不安が増大している時代ではないでしょうか。

介護保険、老人医療、国保年金等も負担と給付のバランスに問題はないと言えるでしょうか。

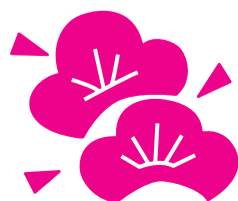
日本の国の美しさは国民の美しさの原点にあると考えています。そして「もったいない」に象徴されるように行政・議会に無駄なところはないのでしょうか。行政・議会にこそ「美しさ」と「もったいない」が求められています。

その課題について区民の皆様と真摯に向き合い議論し、共に答を求めていきたいと考えています。

各会派の連絡先

自民党議員団 (3578) 2927	民主クラブ (3578) 2938	みなとかがやき (3578) 2928
共産党議員団 (3578) 2945	オンブズマンみなと・一票の会 (3578) 2969	仲間へ勇気の会 (3578) 2926
公明党議員団 (3578) 2935	港区民クラブ (3578) 2925	ネットワークみなと社民 (3578) 2940

不在の場合は区議会事務局 (3578) 2920へ



11月30日	運営委員会・本会議 会期決定 諸報告
12月1日	本会議・運営委員会 一般質問4名
4・5日	常任委員会 議案等の審査
6日	総務・保健福祉・区民 文教常任委員会 議案等の審査
7日	運営委員会・総務常任 委員会 議案等の審査
8日	議案等の審査 常任・特別委員会 委員長報告、中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決

第4回定例会 会議日程



各会派の抱負

新春を

共産党議員団



沖島 えみ子



星野 喬



いのくま 正一



北村 利明



風見 利男



熊田 ちづ子

あけましておめでとうございます。日本共産党6名の区議員団は、この四年間みなさんと力を合わせて中学3年生までの医療費の無料化、小・中学校卒業アルバム代・補助教材費など父母負担の軽減、新橋の特養ホーム・障害者施設の開設、南麻布の特養ホーム建設の具体化、固定資産税の軽減の実現・最高裁での勝利、町会・商店街の街路灯への補助拡大、乳がん検診の無料化、ちいばすの運行・無料乗車券の発行、家具転倒防止器具の支給・設置、小学1年生の20人以上クラスへの講師派遣、フットサル場の設置、平和の灯の設置、道路占用料の引上げで年2億円の増収、区債の繰上げ返済で4億円節約など、様々な要望を実現してきました。今国の政治は、医療・介護保険・障害者制度・税制・年金制度の改悪など、国民いじめのひどい政治が続いています。憲法改悪の動きも強まっています。区民生活を守る港区の役割はますます重要になっていきます。しかし、オール与党に支えられた港区は、大企業の開発優先、エレベーターでの死亡事故の反省もなく民間委託路線の拡大など区民不在の政治をすすめています。

今年には都知事選、区議選、参院選の年。区民・国民の声がいきる政治めざしてがんばります。800億円の積立金を区民のために活用させます。今年もよろしくお願いいたします。

民主クラブ

新年あけましておめでとうございます。昨年、エレベーター事故問題、政務調査費問題など、数々の諸問題に取り組む1年でした。また、全世界的に異常気象に見舞われ、ヒートアイランド対策や地球温暖化対策等、未来に禍根を残さないよう環境対策の必要性を痛感しております。

この数年で、港区内の街並みは大きく変化いたしました。環境への配慮を強化し、街づくりのあり方を、住民の視点で考え直す時期に来ていると思います。

特に、この数年で3万人以上の人口が増えた港区において、保育園の整備や中高一貫教育における子供達への取組み、交通網の整備、災害への対応など配慮していきたいと考えています。

私も民主クラブは施策の是非を問いつながら、積極的に提言を行い、厳しい視点でチェックをし、時には区政に苦言を呈しながら、身近な区政を推進してまいりました。

本年も、魅力ある教育環境の整備、少子化対策、高齢化社会への対応、産業育成、環境問題をはじめ、区民の安全と安心を確保し、区民福祉の向上をはかり、誰もが誇れる港区政を実現するために励んでまいります。

みなさまの一層のご支援とご協力をお願いいたします。本年もよろしくお祈り申し上げます。



清水 一郎



七戸 淳



横山 勝司



矢野 健一郎

みなとかがやき

あけましておめでとうございます。区議会議員として12回目の正月を迎えることができました。昨年は「イナバウアー」が流行語大賞に選ばれた等明るい話題もありましたが、いじめによる自殺等殺伐とした事件も多くありました。

私は議員の役割は、区民の皆様方のご要望を政策としてまとめあげ提案すること、貴重な税金の使われ方を一円の無駄のないよう厳しくチェックすることの2つであると主張してきました。800億円もの基金のある港区です。「ゆるみ」が出ないようチェックします。



湯原 信一

港区民クラブ



渡辺 専太郎

新年あけましておめでとうございます。昨年、教師が生徒へのいじめを行った事を発端とした自殺、わが子への虐待など教育分野や家庭での問題が多くありました。

また、区においては、エレベーター死亡事故があり、区議会議員として無念を感じております。

私は区民の皆様の安全安心を第一に考え、今まで以上に施策の是非を問いつながら、積極的に提言を行い、執行状況をチェックします。

本年も皆様のご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

ネットワークみなと社民

新年あけましておめでとうございます。議員の任期も残すところわずかとなりました。初心を忘れず今後とも「区民が主役の港区政」の実現を目指し、子育て支援や高齢者・障害者の福祉、教育、港区の抱える諸問題についても区民の皆様方の視点を大切にし、全力で取り組んでいきます。

今年もご指導とご支援下さいますよう、心からお祈り申し上げます。

本年が皆様にとってもよい一年になるようお祈り申し上げます。



阿部 浩子

仲間へ勇気の会



なかまえ 由紀

明けましておめでとうございます。港区では、一時期十五万人を割り込んだ人口も、外国人を含め二十万人にまで増えました。このような中、町の絆を保ち、災害に強い町を築くとともに、住民ニーズを的確につかむことが大切です。

昨年は、支所の機能が強化され、お近くの支所で様々なサービスを受けることが可能になりました。

今後とも公正公平な区政運営が行われるよう、チェック機能を果たして参ります。皆様のご意見をお寄せ下さい。

港区議会における政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例可決

平成18年第4回定例会は、11月30日から12月8日までの9日間にわたって開会されました。

定例会では、10人の議員から区長、教育長、議長に対して、代表・一般質問が行われたほか、区長から提出された案件を審議した結果、条例改正など14件・補正予算1件を原案どおり可決しました。

皆さんから提出された請願は、3件を採択、39件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書2件を可決し関係機関へ送付し、条例改正案1件を可決、条例案4件を継続審査としました。

また、追加提出された人事案件は、人権擁護委員候補者2名の推薦について可決しました。

区民のみなさんから提出された請願



採択とした請願

▼移動支援事業を無料化にする
とに関する請願(要旨)障害者自立支援法が始まり、多くの障害者は負担増により、サービスを減らさなければならぬ。これまでのサービスを低下させないよう区の軽減策を拡大されたい。

▼待機児童解消等のために、一時使用中の旧飯倉小学校内保育園施設の活用促進を求める請願(要旨)港区には、待機児童が約

継続審査とした請願

▼民間人保護の国際人道法であるジュネーブ条約追加議定書なら

びに、国際刑事裁判所(ICC)の速やかなる批准を日米両政府に求める意見書採択に関する請願

▼無差別殺戮兵器クラスター爆弾の使用禁止を求める意見書採択に関する請願

▼地元中小建設産業従事者の経営と生活危機打開のための緊急対策を求める請願

▼地元中小建設産業従事者の経営と生活危機打開のための緊急対策を求める請願

▼強行する森ビルの「虎ノ門・六本木」・「虎ノ門・麻布台」再開発について、住民の合意が取れるまで、都市計画決定下さないように港区議会・各派各議員に依頼する請願

▼仙石山(虎ノ門5丁目地区の一部)・虎ノ門・六本木地区及び虎ノ門・麻布台地区両市街地再開発区域に含まれる「虎ノ門・六本木地区及び虎ノ門・麻布台地区両市街地再開発準備組合」による再開発の申請を取り消し、白紙に戻して頂くことに関する請願

▼「虎ノ門・六本木地区市街地再開発準備組合及び虎ノ門・麻布台地区市街地再開発準備組合」の長年にわたる街づくりへの取り組みに理解をいただき、当地区の街づくりの早期実現に向けて協力を求める請願

▼政党助成金制度の廃止の意見書提出に関する請願

▼浜岡原発の原発震災を未然に防ぐことに関する請願

▼消費税の増税計画に反対する請願

▼旧柄絵小学校にある「みなとみどりっ子クラブ」のピオトープ・田畑を、ピオトープ公園に拡充する請願

▼住居表示の早期是正に関する請願

▼安定した公的年金制度の確立等につき意見書の提出を求める請願

▼教育基本法の改悪反対の意見書提出に関する請願

▼劣化ウラン兵器禁止に関する請願

▼港区白金台1丁目住民の住環境および白金小学校の教育環境維持のため、仮称コンフォート白金台の計画見直し及び誠意的に対話をするよう指導していただくことを求める請願

▼六本木福祉会館(仮称)設立に関する請願

▼虎ノ門法曹ビル建設計画にあたって事業主・施工業者に住民と誠意をもって話し合いをもつよう求める請願

▼強行する森ビル(株)の虎ノ門・六本木地区市街地再開発に反対する請願

▼国民が安心して暮らせる年金制度確立のために、政府に年金「改革」法の実施を中止することを求める請願

▼「教育基本法の改正を求める意見書」採択に関する請願

▼「六本木・虎ノ門地区・地区計画」の都市計画変更案について反対の請願

▼「六本木・虎ノ門地区地区計画」の都市計画変更の手続きを中止し原案を白紙に戻す請願

▼「六本木・虎ノ門地区地区計画」の都市計画の変更の原案についての反対の請願

▼「六本木・虎ノ門地区地区計画」の都市計画変更の早期決定に協力を要請する請願

▼障害のある児童の「子ども医療費助成」に関する請願

▼介護保険料についての請願

▼患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める請願

▼青南小学校における放課GO実施および港区立青山児童館の建設等に関する請願

▼(仮称)「高輪台プロジェクト」建設に関する請願

▼高松宮邸に関する請願

▼「廃プラスチックのサーマルリサイクル(熱回収)について」の請願

▼「廃プラスチックのサーマルリサイクル(熱回収)について」の請願

▼循環型社会をめざす清掃事業に関する請願

▼教育基本法の早期改正を求める請願

▼教育基本法「改正」反対決議を求める請願

▼教育基本法改定に反対する請願

意見書

を提出しました

全文

東京都として少人数学級の実施を求める意見書

全国では東京都以外の46道府県がすでに、国が定める「40人」よりも少ない学級規模にした「少人数学級」をならんかの形で実施しています。これは、国の教育行政の遅れに業を煮やした父母や学校関係者の世論と要求に押されて、各自自治体が自主的に財源を確保して実施しているものです。ところが東京都は、都民世論と要求が切実であるにもかかわらず、「社会的適応能力を育むためには、学級には一定規模が必要である」と考えられた真理に忠実であるべきです。全国の実践は、学習面でも、生活面でも、総合して「少人数学級」の方が効果があることを実証しているのです。もはや、実践的に論破された滑稽な議論に固執するときはありません。「協力者会議」の「最終報告」は、「少人数学級」の教育効果を認めつつ、国として財源を保障して「少人数学級」を実施することを先送りしてしまいました。しかし、東京都より財政力の小さな自治体が自主的に「少人数学級」に踏み出しているのです。東京都がその気になればできない話ではありません。

▼教育基本法「改正」法案に反対する請願

▼少人数学級実施に関する請願

▼循環型社会をめざす清掃事業に関する請願

▼教育基本法の早期改正を求める請願

▼教育基本法「改正」反対決議を求める請願

▼教育基本法改定に反対する請願

継続審査とした案件

議員提出案件

▼港区重要要介護高齢者手当に関する条例

▼港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

▼港区学校給食費助成条例

▼港区立中学校修学旅行費の補助に関する条例

よって港区議会は、東京都知事及び東京都教育委員会に対し、以下の点を求めるものです。

- 一 国として学級編制基準を40人未満にして、「少人数学級」を財政的に保障する制度を確立するよう要請すること。
 - 一 東京都として、「少人数学級」の実施に計画的に踏み出すこと、そのための教員増員計画をもつこと。
 - 一 文部科学省の「少人数学級」の実施にかかわる加配教員の振替活用の希望については、区市町村の意向を聴き、要望に応えること。また、「市町村立学校職員給与負担法」が改正され、本年4月から区市町村が給与を負擔して教職員を任用することが可能になったことをふまえ、区市町村が独自に教員を採用することによって40人未満の「少人数学級」を実施する意向を示した際には、それに同意すること。
- 右、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。
- 東京都知事、東京都教育委員会
員長 あて
(8頁へつづく)

代表・一般質問

(要旨)

11月30日

12月1日

安全・安心まちづくりに ついて

自民党議員団

質問 ①放置されたゴミなどで汚

れた街は、犯罪者に狙われやすい街であり、放置自転車や放置バイクとともに、歩行者の通行の妨げとなっている。また、「安全で安心できるまちづくり」の阻害要因であり「観光都市港区」としても美観の面から大きな問題である。「安全で安心できるまちづくり」の観点から、どのようなゴミ問題に対する基本的姿勢を持っているのか。②日本有数の繁華街である六本木では、「六本木地区安全安心街づくり推進会議」が発足した。「六本木ゴミ出しルール」により、「ゴミを出す時間帯」(収集日以外はゴミを出さない)を徹底し、この二つを守ることで困難な事業者には、「民間の廃棄物処理業者に、ゴミ処理を委託してもらうことを強く協力要請をしていく。この「ゴミ出しルール」の取組と、区内への拡大について伺う。③区独自では、港区内の公園には、防犯カメラを設置しているところはないが、社会状況や防犯カメラを設置すべきとの地域要望を踏まえて、区内の公園の防犯対策について伺う。

答弁 ①地域の特性を踏まえ、安全できれいな街づくりを目指した「ゴミ出し時間ルール」づくり

などについて、町会や商店街・関係団体と連携しながら進めていく。②地域の方々为主体的に創りあげた「ゴミ出しルール」は、地域と関係団体や区が一体となって取り組む安全安心まちづくりに、大変、効果的と考えられる。今後、六本木地区の活動を参考にしながら地域を拡大し、地域特性を踏まえた「ゴミ出しルール」の徹底に努める。③防犯カメラの設置は、防犯対策の補完機能として、犯罪の抑制・防止のほか、施設の安全性の確認など多くの効果が期待できるものと考えられる。反面プライバシーなどへの配慮も必要である。今後、文化財など貴重な財産の管理が求められる公園や繁華街などに隣接し、防犯対策を重点的に推進する必要がある公園などに導入を検討する。

新しい保健所の整備について

質問 ①新たな保健所の整備構想

が発表されてから、随分と経っている。災害はいつくるかわからない。新しい保健所を、健康危機管理センターと位置づけ、保健、衛生対策面でのバックアップ機能を働かせるべき。そして、いざというとき、罹災の方々をケアする対策拠点として

の機能が新しい保健所では、どのように検討・整備されるのか。②休日や夜間の診療体制について、大病院や地域の医療機関との連携・協力が必要である。区だけで対応できる問題ではない。どのように改善するのか。

答弁 ①新しい保健所は、災害時

に機動的に対応できるように、機能・体制を整備するとともに、必要な機材の配備など、健康危機管理の拠点として整備する。また、平常時から医師会、歯科医師会、薬剤師会などと緊密な連携・協力を図るとともに、東京都、消防署等の関係機関との連絡体制を構築していく。②新しい保健所整備に向けて、情報機能強化を進めているところであり、かかりつけ医制度などを活用し、救急医療情報を提供すること、症状に合わせた適切な休日・夜間の診療が受けられるよう努める。

新郷土資料館の整備について

質問 現在の郷土資料館は、面積

が非常に狭く、施設の老朽化や機能不足となっている。新しい資料館の、建設予定地も明示されたと考えていたが、その後の進展が聞こえてこない。どのような状況にあるのか。

答弁 新郷土資料館については、

区民が誇れる郷土の歴史や文化を後世に伝える場とするともに、子ども達が楽しく学習できるミュージアムを目指して鋭意検討中。建設地の選定にあたっては、修学旅行生なども気軽に立ち寄れるよう、既存の観光資源との連携も視野に入れ検討。

は、修学旅行生なども気軽に立ち寄れるよう、既存の観光資源との連携も視野に入れ検討。

を活用する方法を検討する。②現在、麻布地区で設置を進めている旧町名の由来板を、来年度以降は、区内に広げていく。また、地域の歴史や文化を知り、地域理解を高める活動を各地域で開催し、旧町名の活用を検討する機会とする。

質問 ①戦後、多くの日本の都市

は、それぞれの「町の顔」というものを失った。原因の一つはそれぞれが持つ歴史と文化への配慮を欠いたことにある。その一つは、「旧町名を消した」ところにある。他区では、旧町名復活の可能性や旧町名を含む町名の活用が検討されたという。港区では、例えば、旧竜土町は、現在の六本木七丁目あたりだが、そこに「竜土軒」の跡の港区文化財表示板が設置されている。旧町名を地域の中で活用することが土地への愛着や地域交流のきっかけとなるなどコミュニティのよりどころになると思うが、②歴史や文学等に残る旧町名や坂の名称などを、ま

ちの資源と捉え、保存・伝承する「まち探訪事業」の今後の展望

について伺う。

答弁 ①旧町名は、地域の歴史と

文化を反映した貴重な財産である。自分の住んでいる地域への愛着と関心を高めることは大切なこと。そのため、幅広い視点からご意見をいただき、旧町名

活用する

を後世に伝える場とするともに、子ども達が楽しく学習できるミュージアムを目指して鋭意検討中。建設地の選定にあたっては、修学旅行生なども気軽に立ち寄れるよう、既存の観光資源との連携も視野に入れ検討。

を後世に伝える場とするともに、子ども達が楽しく学習できるミュージアムを目指して鋭意検討中。建設地の選定にあたっては、修学旅行生なども気軽に立ち寄れるよう、既存の観光資源との連携も視野に入れ検討。

ている高齢者、とりわけ介護認定を受けながら在宅生活をして

いる高齢者の支援に力を入れていくとしているが、在宅で懸命に介護をされている家族にも、きめこまかな心配りが必要。

答弁 家族には、介護に伴う様々な苦労があると思う。高齢者の在宅サービスについては、現在実施している事業のレベルアップを図るとともに、地域で安心して暮らせる在宅サービスを提

供できるよう、充実に向け検討していく。



増税から区民の暮らし・福祉を守れ

共産党議員団

税制改悪から区民生活を守る提案

質問 ①税制改悪での増税で、区民生活は深刻。区民の実態についての認識は。②税制改悪の影響を受ける区民への支援策は。

答弁 ①定率減税などの廃止で区民の負担感の高まりは承知している。②支援策や激変緩和策は全庁的な検討を進めている。

高齢者施策についての提案

質問 ①特養ホームの新たな増設計画を。②在宅介護世帯にも介護手当を。③在宅介護サービスの利用料を3%負担に軽減を。④4月以降の認定者にも、自立支援型ベッドの支給を。

答弁 ①第4期介護保険事業計画の中で検討。②在宅サービスの充実を検討。③考えていない。④原則として貸与できない。

一人暮らし高齢者への支援の提案

質問 社協と明学大が共同で行った「一人暮らし高齢者の実態調査」では、「正月三ヶ日を1人で

過「した」が3人に1人、という結果。①調査結果に基づく高齢者への支援対策を。②正月を1人で過ごさせないための具体的な取り組みを。③ネットワーキングに取り組みを。④総合支所で訪問活動を。

答弁 ①支援策を検討する。②総合的に検討。③社協、町会等と連携し、社会参加の仕組みを検討。④総合支所では、高齢者の見守り体制を充実する。

安心して住める住宅政策の提案

質問 区営住宅の建設、区民向け住宅の現行家賃の引き下げと家賃助成制度の復活・充実を

答弁 特公賃住宅、区立住宅の家賃引き下げについては、来年度4月実施に向け見直しを進める。

災害に備えた街づくりの提案

質問 ①無料耐震診断の非木造住宅への拡大を。②耐震助成の通年受け付けを。③耐震助成の利用者負担の軽減を。④緊急時の要援護者対策の具体化を。⑤雨水



▲旧町名を地域の中で活用した例

代表・一般質問



▲教室で元気よく手をあげる子どもたち

学校の「いじめ」対策などの提案

質問 ①「いじめの隠ぺい」では解決しない。学校保護者、地域が一体となり、問題解決を。②30人学級・少人数学級の実現を。当面、小学一年生だけでなく、講師配置は全学年に拡大を。

質問 ①その立場で、未然防止、早期発見・適切な対応に努める。②区独自で編制はできない。区費講師は二年生以上でも配置し、少人数指導などを実施している。

質問 指定管理者制度を見直し、直営あるいは業務委託方式に。一部業務委託を含めた直営方式と指定管理者制度の両面を検討し、最良の方法を選択する。

芝浦・港南地域の人口急増に見合った諸政策についての提案

質問 ①品川駅東西自由通路の混雑緩和のため、JRに働きかけ、駅南側に新たな改札口・通路の設置を。②田町駅周辺の放置自転車対策は、駐輪場を無料・超低料金で、誘導員の恒常的配置を。③品川駅港南口の新たな駐輪場の設置を。④「協働会館」の保全と活用を。

質問 ①JRや関係者に要請する。②考えていない。誘導員は早期の配置に向け検討。③「星の公園」の地下に整備する方向で検討する。④請願、議会の意見書等を踏まえ、都と協議していく。

「ちいばす」路線拡大の提案

古川の治水対策について

公明党議員団



▲古川の地下調節池整備事業の早期実現を

設置を。②田町駅周辺の放置自転車対策は、駐輪場を無料・超低料金で、誘導員の恒常的配置を。③品川駅港南口の新たな駐輪場の設置を。④「協働会館」の保全と活用を。

質問 ①「いじめの隠ぺい」では解決しない。学校保護者、地域が一体となり、問題解決を。②30人学級・少人数学級の実現を。当面、小学一年生だけでなく、講師配置は全学年に拡大を。

質問 ①その立場で、未然防止、早期発見・適切な対応に努める。②区独自で編制はできない。区費講師は二年生以上でも配置し、少人数指導などを実施している。

質問 指定管理者制度を見直し、直営あるいは業務委託方式に。一部業務委託を含めた直営方式と指定管理者制度の両面を検討し、最良の方法を選択する。

芝浦・港南地域の人口急増に見合った諸政策についての提案

質問 ①品川駅東西自由通路の混雑緩和のため、JRに働きかけ、駅南側に新たな改札口・通路の設置を。②田町駅周辺の放置自転車対策は、駐輪場を無料・超低料金で、誘導員の恒常的配置を。③品川駅港南口の新たな駐輪場の設置を。④「協働会館」の保全と活用を。

質問 ①JRや関係者に要請する。②考えていない。誘導員は早期の配置に向け検討。③「星の公園」の地下に整備する方向で検討する。④請願、議会の意見書等を踏まえ、都と協議していく。

「ちいばす」路線拡大の提案

区の契約事務について

質問 区の契約事務について3点伺う。①基本設計と実施設計が同一設計者となるのが民間では常識、区は入札で選定し違う業者になる事例がある、建物の場合は基本設計をした事業者が実施設計を委託することが効果的であると思う。②区内中小企業の保護・育成を主眼に置いた契約事務のあり方の検討を。③区政に貢献している事業者の実績が契約事務に反映されていない。

質問 ①契約のあり方について検討する。②区内中小企業の振興に努めている。③区内事業者の貢献をどのように評価し反映させるか制約はあるが検討する。

質問 ①公設公営の保育園の増設を。②飯倉・南青山・赤坂保育園の仮園舎継続使用を。

質問 ①多様な事業主体を視野に入れ検討。②飯倉は活用を検討。

質問 区の外郭団体は9団体あるが、住宅公社事務局員は全職員が区の人材、指定管理者として良いのか疑問。そこで①2年後の指定管理者選考では民間と競わせることが当然と考えるが、②行革推進委員会で「外郭団体のあり方検討会」を進め改革案を決定すると伺っていたが。

質問 ①区と指定管理者の業務分担を整理し検討する。②あらゆる可能性について検討し、年内には方向性を示す。

住宅施策について

住宅困窮者に対する、住宅セーフティネットとしての民間賃貸住宅ストックの活用を。

質問 ①入居者が負担する家賃については来年4月の実施に向け家賃体系の見直しを検討する。②自治会組織設立を働きかけるとともに、町会参加の促進に向け取り組む。③第2次港区住宅基本計画「見直し」で検討する。

質問 ①浜松町駅東西自由通路の全体構想と現在の進捗状況は。②浜松町南側は大規模ビルが建築され、歩行者の流れが変化した、駅南口階段は急勾配で踊り場もない、早期改良が望まれる。

質問 ①平成20年度までに概略設計・基本設計を行い平成25年度の竣工を目指す。②世界貿易センタービル側へデッキを延伸できるように、周辺関係者と浜松町西口の街づくりの話し合いを行う。

認知症高齢者グループホームの整備について

質問 港南、白金、南青山、南麻布に開設、建設予定だが、芝地区は計画がない。芝地区に安心して暮らせる「認知症グループホーム」を整備する必要がある。

質問 芝地区の具体的な整備計画については、土地の確保や整備手法などを十分検討する。

文化・芸術活動の場の確保を

民が利用しやすいよう、使用料の一部を区が負担、利用拡大を図ることが必要。

質問 ①改修は、利用者懇親会等の意見を踏まえ、慎重に検討する。②芝地区における区民センターの整備については検討する。③多様で良質な文化芸術活動を支援する活動助成制度の中で、使用料助成も検討する。

質問 平成17年度はいじめ状況は小学校1件、中学校5件、延相談件数75件と聞いている。そこで①学校と教育委員会のこれまでの取組みは。②いじめの解決にあたっては、子ども達自身が対処することが重要であり、地

質問 第28次の地方制度調査会の議論等では都心3区の法人税を特別の税制として交付税に入れることや都心区の政府直轄論が浮上していると聞く。昭和22年8月以来、今日の23区体制をとってきた特別区のあり方を議論するのなら、単に財源確保論や地方分権の推進に止まるべきではない。都心のあり方に関する検討会」では、財政効率率のみの考え方で23区の再編が議論されているような感じだ。現行制度の課題解決に向けた議論を曖昧にしたまま再編を論じるのは拙速に過ぎる。区長の考えは。

質問 今後の都心のあり方については多くの検討すべき重要課題があるが、区民の意向を踏まえるなどして慎重に検討を進める。

23区再編論に対する区長の考えは

民主クラブ

定住まちづくり条例改正について

質問 港区は、地価高騰等の影響による人口急減を背景に「港区定住まちづくり条例」を制定し、定住人口確保と定住街づくりに重点を置いた施策を展開してきた。現在、都心回帰現象等によって港区の人口は順調に回復しているようだ。今回の「定住まちづくり条例」改正では、街づくりに関する住民参加の仕組み導入は良いとしても、街づくりの主眼を定住人口確保から良質な都市空間・居住環境の維持・創造へ移すとされている。しかし、赤坂・青山地区では人口増が見られない現状を踏まえると、定住人口確保と定住街づくりの理念や規定は継続してもらいたい。

質問 今後の都心のあり方については多くの検討すべき重要課題があるが、区民の意向を踏まえるなどして慎重に検討を進める。



▲解決がもたれる放置自転車

答弁 現行条例の理念を引き継ぐとともに、「港区開発事業に係る定住促進指導要綱」等による定住施策を推進していくため、関係規定を継続する。

「港区土地利用方針」について

質問 先の総務常任委員会で「港区土地利用方針(素案)」が示された。学校跡地や区有地の活用方法については、近隣住民の生活環境等に大きな影響があり、区民や地元住民にとって関心の深い問題。従って住民説明会等を実施し慎重に検討を進めてきたため、素案の公表が遅れているのは理解できる。しかし、平成20年度を年限としている現行基本計画の着実な実行のためには早期に「方針」を確定すべき。今後計画事業を推進する上で「方針」をどのように活かすのか。

答弁 利用目的を明確にして取得した用地等については、個別に事業計画を策定し、着実に実現させるとともに、土地利用方針については、区民や議会の意見を聞き、早急に策定する。

放置自転車・放置バイク対策を

質問 放置自転車・放置バイク対策は、街の安全や景観の観点から区全体の重点課題。各総合支所で駐輪対策に取り組んでいる

が、抜本的な対策は進んでいないようだ。国土交通省は、道路法施行令を改正し、車歩道をバイクと自転車の駐輪場として占有することを認める決定をした。まず区自ら率先垂範し、区道を駐輪場・駐バイク場として活用すべき。区長の方針は。

答弁 歩道幅の広い区道では放置自転車等の有効な対策と考えられる。「自転車等駐車場整備基本計画策定協議会」で検討する。

積極的に安全・安心な街づくりを

質問 ①耐震改修の必要な区有施設及び未改修の区有施設の数と耐震改修の終了する年度は。②今後の未改修施設への対応は。③街の景観等の視点から電線類

の地中化を促進すべき。今後の見直しは。④高齢者・身障者の外出や社会参加を促進する上で区道のバリアフリー化は不可欠。また他の道路管理者へも働きかける必要がある。区長の考えは。

港区の環境政策について/学校給食の質と安全・安心について

オンブズマンなど「一票の会

質問 環境問題は人間社会を支える「自然」に生じた大問題との認識・共通理念に立ち、経済と社会と環境のバランスを取るバックキャスト政策に注目すべき。

質問 環境問題は人間社会を支える「自然」に生じた大問題との認識・共通理念に立ち、経済と社会と環境のバランスを取るバックキャスト政策に注目すべき。

①この観点から港区の環境政策はどうあるべきと考えるか。②高層建築物も大きな発熱体で環境に影響を与えている。街づくりに関する区長のビジョンは。

質問 小諸高原学園の跡地をエコビレッジにすべき。検討状況は。

答弁 ①居住と都市環境が調和した「居住環境都市みなど」の実現を目指す。②地域の多様性を活かし、環境と都市活動のバランスが取れた「持続可能なまち」を創造する。

質問 小諸高原学園の跡地をエコビレッジにすべき。検討状況は。

答弁 港区土地利用方針検討委員会で活用のあり方等を検討中。

幼児教育について

質問 ①「芝浦アイランドこども園」の園児募集が説明不足で

質問 ①学校給食は、食事に占める割合が大きく、またその期間も長いことから、子供の成長や健康に大きな影響を与える。アレルギー等の疾患を抱え、食事内容に制約を受ける子供達が増加している現状を考えると、学校給食でも子供の体質に合わせ、メニューに一定の配慮が必要。学校現場でどのような配慮がされているのか。②子供達の健全な成長のために「食」の果たす役割は重要で、学校給食が安全・安心であることは、全ての子供達にとって必要。安全・安心な給食の取組みを進めるべき。



若者の芸術活動等の発表の場を確保せよ!!

みなとかがやき

質問 地域ネコ問題に真剣に取り組んでいる団体との連携・協働の仕組みづくりをどう考えるか?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 今後の基金の活用については「港区財政運営方針(素案)」の中で、増大する施設の改築需要への活用基準や、区民参画による基金の新たな活用方法など、基本的な方針を示しているが、今後とも多様な魅力と安全性を備え、誰もが快適に暮らせる港区の実現に取り組んでいく。

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

質問 団塊の世代も含めて、高齢者の教育現場での活用をさらに推進すべきと考えるが如何か?

「港区の緑を増やせ!!」他

仲間へ勇気の会

質問 ①区内には約700のNPOが存在し、毎年選ばれた団体に計約500万円の補助金が出ている。助成団体の選考方法や支給効果の検証を適正に行う必要がある。NPOへの支援に対する区の評価は。②拠点施設の整備は。

質問 一人暮らし高齢者への支援や、区の相談体制について、きめ細かい対応を。

質問 ①区の支援事業により、NPOが様々な分野で事業を展開しており、今後も支援を推進すべきと考えるが如何か?

質問 国や都の動向も踏まえ研究する。

質問 今年6月に制定された港区文化芸術振興条例を絵に描いた餅にしない為にも、区民が効果的に情報収集等のできる拠点を設けるべき。

質問 台場を含む芝浦南地区は、医療資源が他地区と比べ不足している。区内のどこでも安心して良質な医療体制の確保を。

質問 コミュニティの活性化や区民協働の推進など、エコマネー(地域通貨)には多くの効果が期待できる。港区でも導入を。

質問 地域の開発の際には、開発業者へ医療機関の設置を誘導している。引き続き努力する。

質問 現在、エコマネーの導入は考えていないが、環境にやさしい行動の実践をエコポイントとして利用できる事業を始める。

質問 港区教育センターでのいじめ相談の実績と対応は。

質問 区の緑被率は現状19%。開発の多い港区では、建築時に敷地面積などに応じて定められている緑化率の数値を上げることが、緑を増やすのに効果的と考えられているか。

質問 いじめに対する児童・生徒への指導を強化し、いじめへの対応を学校の教育方針の最重要課題と明文化すべきだが港区の対応は。

質問 緑化率等の緑化基準の検討も含め、緑化の推進に努める。

質問 教育目標で明確にする。

質問 指摘された検討項目については、各党派と相談していく。

質問 指摘された検討項目については、各党派と相談していく。

質問 指摘された検討項目については、各党派と相談していく。

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

※略称 オンブズ一票の会…オンブズマンみなと…一票の会 ネットみなと社民…ネットワークみなと社民

案件名	自民党議員団	共産党議員団	公明党議員団	民主クラブ	オンブズ一票の会	港区民クラブ	みなとかがやき	仲間へ勇気の会	ネットみなと社民	議決結果
専決処分について(港区特定公共賃貸住宅シティハイツ竹芝等昇降機取替工事請負契約の変更) ●テレビモニター等設備の設置に伴う契約金額の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区助役定数条例等の一部を改正する条例 ●38条例の「助役」を「副区長」に改めます	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立児童遊園条例の一部を改正する条例 ●三田小山町児童遊園の位置を変更します	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区公衆便所条例の一部を改正する条例 ●檜町公衆便所(赤坂九丁目7番38号先)を廃止します	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区印鑑条例等の一部を改正する条例 ●証明書自動交付機の利用を外国人登録を受けている者にも拡大します	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立福祉会館条例の一部を改正する条例 ●青山福祉会館の位置変更他及び虎ノ門健康福祉館の開設に伴う西桜・桜福祉会館の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立保育園条例の一部を改正する条例 ●赤坂保育園の改修工事の終了に伴う位置変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ●特別区人事委員会の勧告等を受け、給料月額を引き下げ他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 ●職員の退職手当の算出方法を改めます	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ●特別区人事委員会の勧告等を受け、給料月額を引き下げ他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成18年度港区一般会計補正予算(第3号) ●夜間対応型訪問介護事業補助等の予算計上と高陵中学校改築経費等追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
建物の購入について(赤坂図書館及び南青山保育園) ●赤坂図書館及び南青山保育園に利用する建物の購入(7億6676万9千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
物品の購入について(パーソナルコンピューター等) ●区立小中学校における情報機器類の購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者の指定について(芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ等) ●財団法人東京キリスト教青年会を指定(平成24年3月31日まで)	○	×	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
東京都後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について ●後期高齢者医療事務を処理するため、都内のすべての区市町村により、東京都後期高齢者医療広域連合の設置	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
移動支援事業を無料化にすることに関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
待機児解消等のために、一時使用中の旧飯倉小学校内保育園施設の活用促進を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
三才児保育の実施拡大に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
東京都として少人数学級の実施を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
JR不採用問題の早期解決に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区議会における政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
人権擁護委員候補者の推薦について(神山 明氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
人権擁護委員候補者の推薦について(中村 博氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(4頁からつづく)

JR不採用問題の早期解決に関する意見書

昭和62年の国鉄分割・民営化に際し、JR各社への移行に伴って発生した不採用事件については、平成元年8月の東京都地方労働委員会命令を含め、各地方労働委員会、中央労働委員会が不当労働行為と認定し、救済命令を発しました。

しかし、平成15年12月に最高裁第一小法廷は、日本国有鉄道改革法第23条により、JRには責任を問えないとしてこれを取り消しました。この間、ILO結社の自由委員会は再三にわたり「政治的・人道的見地に立った解決の促進」を勧める勧告を行っています。また、昨年9月には鉄建公団訴訟の東京地裁判決も出されました。

よって、国会及び政府におかれましても、これらを留意し、JR不採用問題の早期解決に向けて、関係者に働きかけるなど、一層努力されるよう強く要請いたします。

【議員の住所変更】
林田 和雄
住所 赤坂9-5-26
ヴェラハイツ赤坂301
電話 5411-3207

内閣総理、総務、厚生労働、国土交通大臣
衆議院、参議院議長 あて

議会HPへアクセスしてみませんか

区議会の役割や、「請願・陳情」の書き方・提出方法、会議の傍聴手順などを掲載しています。また、区議会だよりのバックナンバーや、会議録(各定例会の本会議、予算・決算特別委員会)の閲覧・検索もできます。



区議会のアドレスは
<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

一時保育のおしらせ

区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりします。傍聴しようとする会議の開会3日前(土日、祝祭日を除きます)までに区議会事務局へ電話等でお申し込みください。なお、会議の開会予定については区議会ホームページ、ポスター等でご案内いたします。

お知らせ

港区議会では、政務調査費の適正な執行に努めるとともに、各会派の責任において、領収書等の証拠書類を公開するものとしてきました。今定例会において、なお一層の透明性の確保と使途の厳正化を図るため、「港区議会における政務調査費の交付に関する条例」の改正案を全会一致で可決し、平成19年度から収支報告書への領収書原本添付を義務づけ、港区情報公開条例に基づく公開の対象としました。

みなさんの声を区政に

区議会では、区政に対する意見や要望を請願書として受け付けています。

- ① 日本語で請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- ② 請願者の住所、氏名(自署又は記名押印)を記入してください。
- ③ 署名簿を添付してください。
- ④ 請願には、1名以上の紹介議員が必要です。

⑤ 港区議会「港区議会議員」として下さい。

⑥ 港区議会事務局まで、紹介の受け方等については、区議会事務局まで。

(本文)	(表紙)
請願の趣旨 理由 年月日 請願者 住所 氏名 港区議会議長あて	○○○○○○に関する請願 紹介議員

お問い合わせ

区議会事務局議事係
電話 3578-2111
内線 29155-2917

お問い合わせ下さい。

請願書の書き方

あとがき

▼ 次回の定例会は、2月下旬に開会する予定です。

編集委員

- 熊野 藤
- 菅本 潔
- 田弘 一
- ちづ子
- 秋七 杉
- 元ゆき 本とよひろ
- ひさ
- 淳